



果実とやすらぎの里・北海道仁木町

Niki

議会だより にき

no.109

第4回定例会

へき地保育所の保育料を改正

CONTENTS

第4回臨時会 **ワイン・ツーリズムプロジェクト始動** 5

町政のそこが聞きたい！**一般質問** 4人の議員が登壇 6

まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略
全員協議会 **保育料、子ども医療費の負担を軽減** 15



きょうだい仲よし！ (関連記事16ページ)

へき地保育所の保育料を改正

定例会のあらまし

第4回定例会は、12月21日に開会し、22日に閉会しました。
町から補正予算、条例制定・改正、不動産譲与、規約変更が上程され、すべての議案を可決しました。
また、第3回定例会で委員会付託した、平成26年度各会計決算認定は、委員会審査報告の後、採決した結果、すべての会計を認定しました。
議員からは、5件の意見書を提出し、3件の意見書を可決しました。
一般質問では、4名の議員が登壇し、町長に考えを問いただきました。



みんなであそび (大江へき地保育所)

条例改正

保育料一律8千円を階層区分別に変更

へき地保育所設置条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。
主な改正内容は、国基準を限度として町が設定している保育料は、認可保育所に適用されていますが、子ども・子育て支援法施行令等の一部改正により、**へき地保育所の保育料にも適用**されることから、階層区分による保育料の設定、多子世帯の保育料の軽減が実施されます。

へき地保育所の保育料

へき地保育所の保育料は、条例の定めるところにより月額8000円とし、認可保育所のような所得別の階層区分や多子世帯の保育料の軽減等がありませんでした。
今回へき地保育所設置条例が改正されたことにより、認可保育所と同じように、次の表のような階層区分による保育料となります。
また、多子世帯の保育料の軽減（同一世帯から2人以上同時に幼稚園・保育所に入所し、かつ2人目以降がへき地保育所に入所している場合の2人目の保育料は半額3人目以降の保育料は無料）なども実施されることとなります。

階層区分	定義	保育料月額	
		満3歳以上	満3歳未満
第1階層	生活保護世帯	0円	0円
第2階層	町民税非課税世帯	6,000円	8,000円
第3階層	町民税課税世帯	8,000円	8,000円

26年度決算

すべての会計を認定

決算認定

平成27年第3回定例会で決算特別委員会に付託した、平成26年度各会計決算認定に係る審査報告書について、上村委員長より報告がありました。

委員長報告の後、全会計の質疑を一括して行い採決した結果、すべての会計を**全員賛成**で認定しました。

決算特別委員会委員長報告

一般会計の歳出において、庁舎の管理経費、戸籍電算化の費用対効果、社協補助金、合併浄化槽の設置状況、有害鳥獣の被害状況、地域商店街活性化事業の成果、道路ストック事業における調査結果、防災行政無線の設置状況、町民スキー場の管理状況などについての質疑（確認）、歳入において、各財政指数の状況と今後の財政運営、消費税増額による町財政の影響などについての質疑があったが、討論はなく、採決の結果、**賛成多数**で「認定すべきもの」と決定した。

特別会計では、簡水特会において、水道使用料と水道施設維持管理費のバランス、漏水の状況についての質疑（確認）、後期医療特会において、保険料の特別徴収の手法についての質疑（確認）があったが、いずれも討論はなく、採決の結果、**全特別会計を賛成多数で「認定すべきもの」と決定**した。

余市協会病院

救急医療に財政支援 274万円を計上



補正予算

- ◇ **一般会計（第6号）**
一般会計予算は、救急医療に対する余市協会病院への財政支援、大江へき地保育所の移転に伴う備品購入費の追加、施設入所支援・就労移行支援利用者の増加及び自立支援医療費の増加に伴う扶助費の追加などによる増額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成**で可決しました。
- ◇ **国保特会（第2号）**
全員賛成で可決
- ◇ **簡水特会（第3号）**
全員賛成で可決
- ◇ **後期医療特会（第2号）**
全員賛成で可決
- ◇ **不動産譲与**
銀山都テレビジョン中継局送受信鉄塔など譲与の相手方
北海道テレビ放送（株）
全員賛成で可決

平成27年度会計 補正の結果

補正額	予算総額
・一般会計（6回目の補正） 2716万2000円増	35億8571万7000円
・国民健康保険事業特別会計（2回目の補正） 3597万2000円増	2億7868万7000円
・簡易水道事業特別会計（3回目の補正） 100万円減	3億7436万円
・後期高齢者医療特別会計（2回目の補正） 96万2000円減	6227万4000円



佐藤町長の行政報告

余市協会病院・救急医療に財政支援

余市協会病院から救急医療に対する財政支援の要望がありました。
同病院の救急医療部門は、常に赤字経営となっていることから、北後志地域保健医療対策協議会において、北後志5町村で支援をすることを決定し、負担割合は患者数による実績割で、本町の負担額は274万1000円と算出されました。

国・政府等への意見書

EBP療法の保険適用を要望 (ブラッドパッチ)

▼ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書
提出議員 住吉 英子
賛成議員 嶋田 茂

脳脊髄液減少症の治療法である「ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）」の保険適用などを要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し、関係機関に提出しました。

意見書

その他の意見書

▼複数税率による軽減税率の導入実現を求める意見書
提出議員 住吉 英子
賛成議員 宮本 幹夫

▼マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書
提出議員 住吉 英子
賛成議員 野崎 明廣

▼安保関連法（戦争法）の強行採決に厳しく抗議し廃止を求める意見書
提出議員 上村智恵子
賛成議員 佐藤 秀教

▼TPP交渉大筋合意に反対する意見書
提出議員 上村智恵子
賛成議員 野崎 明廣

条例制定

大江センター開設のための条例を制定

コミュニティセンターの制定が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。
主な制定内容は、平成28年4月開設・供用開始となる大江コミュニティセンターの必要な決まりごとを定めたものです。

その他の議案

税条例の一部改正
全員の賛成で可決

保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の一部改正
全員の賛成で可決

国民健康保険税条例の一部改正
全員の賛成で可決

後志広域連合規約を變更するための協議
全員の賛成で可決

こきポーのなにに？

脳脊髄液減少症とブラッドパッチ

脳脊髄液減少症とは、交通事故やスポーツ外傷、転倒など体への強い衝撃等により脳脊髄を覆っている膜が損傷を受け脳脊髄液が漏れ出し、減少することによって頭痛やめまい、吐き気などの症状に慢性的に苦しめられる病気です。

ブラッドパッチとは、硬膜（脊髄を覆っている一番外側の膜）と脊髄を保護している脊骨の間にある脂肪組織に、患者さんの静脈から採取した血液を注入することです。注入された血液は硬膜に薄く広がり髄液が漏れていた部分を覆い、血液中のフィブリゲンが固まって、ノリの役割を果たし漏れた部分を塞ぎます。

臨時会のあらまし

第4回臨時会は、11月30日に開会し、同日閉会しました。町から補正予算が上程され、すべての議案を可決しました。

余市町との連携事業

ワイン・ツーリズムプロジェクト始動

補正予算

プロジェクトに係る関係経費を追加
◆一般会計（第6号）

一般会計予算は、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援助交付金の地方創生先行型事業として
余市・仁木ワインツーリズム・プロジェクトが

簡水特会（第2号）

全員の賛成で可決

採択されたことによる関係経費の追加、仁木中学校の電灯スイッチ故障による補修工事などによる増額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

こきポーのなにに？

余市・仁木ワインツーリズム・プロジェクト

道内一のワイン用ブドウ産地であり、ワイン特区の認定を受け様々な規模のワイナリーが展開する余市町と大規模ワイナリーの算入を皮切りに、今後ワイナリーの増加が見込まれる本町が連携し、ワインツーリズムの構築に取組むプロジェクトです。

ワイン用ブドウの生産から消費に係る調査を実施し、客観的データに基づく本地区のワイン用ブドウの生産醸造における優位性を裏付けるとともに、当該事業に携わる事業者への基盤整備に対する支援やコンパクトなエリアにワイナリーが集約されている本地域の特性を生かし、徒歩や簡易的な交通手段で楽しめるワインツーリズムを実施するものです。



佐藤町長の行政報告

トマト生産先進地等視察調査を実施

10月25日から28日までの日程で、JA新おたる仁木町トマト生産組合の畑中名誉会長に同行を依頼し、例年販売額を伸ばしている同組合が出荷する福岡・広島・大阪の3市場と量販店、冬春トマトが本格化する九州産の先進事例視察を実施しました。
今回の視察調査を通じ、各地域の市場や先進地の関係者と意見交換し、本町産に対する評価や流通状況の情報を聴き、私の考えを伝えることができました。現在は、国の交付金を活用した競争力のあるミニトマト産地創り支援事業を展開し、農業研修生受入住宅の整備、生産支援システムの検討支援を行っているところであり、今後の産地づくりについて推進していきます。

平成27年度会計 補正の結果

補正額	予算総額
一般会計（5回目の補正）	2787万5000円増
簡易水道事業特別会計（2回目の補正）	130万8000円減
	35億5855万5000円
	3億7536万円

平成27年第4回定例会 審議した議案と賛否の公表

議案名	佐藤秀教	嶋田 茂	住吉英子	野崎明廣	宮本幹夫	林 正一	水田 正	上村智恵子	嶋岡一雄	議決結果
複数税率による軽減税率の導入実現を求める意見書	○	○	○	●	○	○	○	○	○	原案可決
マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
安保関連法（戦争法）の強行採決に厳しく抗議し廃止を求める意見書	○	●	●	○	●	●	●	○	○	否 決
TPP交渉大筋合意に反対する意見書	●	●	●	○	●	○	●	○	○	否 決

○…賛成、●…反対 ※全員賛成の議案は、掲載していません。また、議長は採決には加わりません。



大江コミュニティセンターは、4月に開設します！

町政のそこが聞きたい

第4回定例会の一般質問には、4人の議員が登壇しました。紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。

一般質問

野崎 明廣 議員 7
町の特産品とふるさと納税について



佐藤 秀教 議員 8
地方版総合戦略と第5期総合計画との関係性について



住吉 英子 議員 9
男女共同参画社会形成の促進について
ピロリ菌の検診・除菌の推進について



上村智恵子 議員 10
本町の移住促進対策について
TPPによる本町農業への影響について



ニキポーのなにに？ 一般質問とは

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。なお、今定例会より、質問1件につき40分の時間制限を試行しています。

ふるさと納税をどう活用するのか

町長 地域づくりに必要な事業に活用する

野崎 本年度よりふるさと納税に取組み、町特産品のサクランボをはじめ、多くの果物や野菜などを返礼品としているが、中には本町産ではないものが見受けられる。

町長 ①産地が本町以外の品は、農産品3、加工品2の計5商品となっており、全体の2割を占めている。これは、実施要綱で特産品等の定義に「町内で

販売されている商品」を言っていることから、町内事業者が扱う本町産以外の商品を贈呈することができるものとしているためである。

②特産品贈呈事業に係る経費を除き、昨年までと同様にふるさと振興基金に積立て、次年度以降に総合戦略で取組む施策など、地域づくりに必要な事業に活用する。

①本町産以外の返礼品はどのくらいあるのか。
②ふるさと納税による寄附金をどのように活用していくのか。

野崎 寄附金を基金に積立て、地域づくりに必要な事業に活用することであるが、現時点で具体的な活用方法を何か考えているのか。



野崎 明廣 議員



ふるさと納税返礼品で人気No.1のサクランボ

町長 現時点で明確なものはないが、基金に積立て、教育環境の整備や福祉、子育て支援など、幅広く活用していく。

野崎 パン・菓子製造販売の「もりもと」が、町産サクランボを使用した焼き菓子「北の散歩道」を12月より本格販売している。



町産サクランボ（水門）を使用した焼き菓子「北の散歩道」（もりもと）

町長 ふるさと納税に関しては、加工品を取り扱うことにより、年間を通して寄附を募ることができるが、本町は加工品が少ないのが現状である。年間を通してふるさと納税に取組むためには、やはり加工品に力を入れていかなければならないと考える。今後の大きな検討課題として取り組んでいく。



佐藤 秀教 議員

町民の転出を抑える施策を

町長 子育て世代に経済的支援を行う

佐藤 ①第5期総合計画は本町のまちづくりに関する最上位計画であるが、当該計画がどのように「地方版総合戦略」に反映されるのか。

②地方創生では、各自治体のアイデアや首長の力強いリーダーシップが必要不可欠であるが、今後の町のあり方、方向性について、町長はどう考えているのか。

町長 ①第5期総合計画は本町のまちづくりに関する最上位の計画であり、その計画期間は総合戦略の計画期間を包含していることから、「町の将来像」や



本町に移住された三田さんファミリー（尾根内）

「将来像実現のための基本目標」は、総合計画と同じように総合戦略でも位置づけ、総合戦略の主要施策の実施にあたっては総合計画実施計画に盛り込んでいくことで整合性を図っている。

②総合戦略は、町が次世代に向けて維持・発展を遂げ、目指すまちの姿やまちづくりにおける理念を明確にするために、中

期的な施策群の基本的方向及び具体的な施策をまとめたいものである。施策を確実に取り組み、町の持続性を確保していきたい。

佐藤 国は、総合戦略において、東京圏から地方への移住促進のための施策を地方に求めている。移住者の受入体制の整備も大事で

あるが、いかに転出者を抑えるかが重要である。

町民が安心して住むことができる施策が最優先であり、町民が幸せを感じない町は、誰も関心を持たないと考えるが、町長の見解は。

町長 町民の転出を少しでも抑えるため、若者の雇用の場や子育て支援は重要な施策と考えることから、総合戦略において、企業の立地促進や企業支援に組み、雇用を確保していく。

また、子育て世代の経済的支援として、学校給食費の負担軽減、中学生以下の子ども医療費の無料化、中低所得世帯の保育料の負担軽減等に取り組んでいく。



仁木町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略

男女共同参画社会形成の促進を

町長 町民との連携が重要。体制の整備を検討する

住吉 一人ひとりが自らの意志で様々な社会活動に参画する機会を確保し、活気あるまちづくりを推進するため、また、高齢世代や若年世代にとって、住みよい町にするために男女共同参画は不可欠と考える。

町長 男女共同参画社会の形成促進を実現させるために必要なのは、女性の権利の確立、政策・方針決定の場での男女平等の推進、女性に対する暴力の根絶

などの取り組みであると考ええる。全ての町民と行政が連携し取り組みを進めることが重要であることから、計画的に推進できるように体制の整備を検討する。

町長は、男女共同参画社会の形成をどのように促進していくのか。



住吉 英子 議員



女性消防団の行進（1/5 消防団出初式）

胃がん検診にピロリ菌検査の導入を

町長 検診機関と協議していく

こきポーの家に住んで？

胃がんリスク検診

胃がんリスク検診は、「ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）感染の有無を調べる検査」と「胃炎の有無を調べる検査」を組み合わせ、胃がんになりやすいか否かをリスク（危険度）分類するもので、一人ひとりの「胃の健康度」を調べて「胃がんになる危険度が極めて低い人たち（超低リスク群）」を精密検査から除外、「危険度の高い人たち」は胃がんがないかどうかを確かめるために内視鏡精密検査を受けてもらう検査のことです。「がんを見つける検査」ではありません。

胃がんリスク検診は、超低リスク群＝「ピロリ菌に感染していない人」を胃がん検診の対象から除外できる点に大きな意味があります。

導入について、検診機関と協議していく。

住吉 早期発見・早期治療で、大事な命を救うという意味でも、ピロリ菌検査等の費用を助成してみてもどうか。

ほけん課長 国のガイドラインに検査項目等、新しい指針が示された場合には、費用助成について検討する考えを持っているが、現段階ではオプション検査のため、自己負担をお願いしたい。

町長 胃がんの早期発見・治療を行うため、これまでの胃がん検診に加え、ピロリ菌検査のオプション検査の



上村智恵子 議員

町有地を分譲してはどうか

町長 宅地造成を含め、検討する

上村

人口減少に歯止めをかけるため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しているが、人口を増やすには、町外の方に移住してもらうのも一つの施策と考える。

①移住希望者にどのような対応をしているのか。
②移住推進のため、移住促進協議会のような組織を作ってはどうか。

町長

①移住関係は企画課、就業関係は農政課・農業委員会がそれぞれ担当し、対応している。
②総合戦略において、移住及びU・ターンへの支援体制強化を図り、移住専



東町にある町営住宅みずほ32の建設残地(町有地)

門職員を設け、ワンストップ対応を推進することから、組織づくりについては、今後において調査研究していく。

上村

移住してもらうには、家や土地が必要である。空き家対策でリフォーム代を補助している自治

体もあるが、本町は空き家がなく苦労していることから、空いている町有地を分譲してはどうか。

町長

総合戦略の主要施策として移住者受入体制の住居整備という部分で、宅地造成を含め検討していく。

道路拡幅を求める陳情の

意見陳述を実施

平成27年10月29日に陳情第1号「町道種川線フルツ街道交差点手前道路拡幅に関する陳情」の審査を行いました。

今回の審査は、陳情者を参考人招致し、意見陳述を行いました。

参考人から「フルツ街道ができたときから交差点が手狭で、観光バスや大型トラックの運転手等から苦情が出ている。また、以前は交通事故が多発し、交差点に入ったときに余市方面から来る車が見えないので、非常に危険性の高い交差点である。今後、高速道路が開通し、フルツ街道の通行量の増加が予想されることから、対策を講じていただきたい」との意見を聞いた後、参考人に對し、質疑を行いました。
今後は、町側にバス交差に必要な工事を行った場合の図面及びそれに係る工事費の積算を資料として求め、慎重に審査していきます。

▼参考人

- 種川町内会
- 山野井邦晃さん
- 高橋 利幸さん
- 山野井英幸さん

TPP大筋合意

本町農業への影響は

町長 関税撤廃で売上減少を懸念

上村

難航したTPP交渉は、大筋合意に達したと発表された。
①TPPの合意内容により、本町の農業にどのような影響があるのか。
②その対策として、どのような支援策を考えているのか。

町長

本町の主力農産物であるトマトの関税は、協定発効後に撤廃、サクランボは6年目に撤廃、その他の農産物等も順次撤廃されることから、国産品の価格下落による売上減少が懸念される。
②野菜類はハウスの導入に対する補助、果樹は苗木の補助等、継続実施が可能か検討中である。



本町の主力農産物・ミニトマト

全道の女性議員

札幌市で総会開催



北海道女性議員協議会総会は68回目を数え、平成27年11月21日・22日の日程で札幌市で開催されました。
21日の総会では、全道の女性議員から提出された議案を審議し、10件の議案が可決されました。
22日の研修会は、「まちづくりの担い手としての商店街活動」と題し、北24条商店街振興組合理事長の講演を拝聴しました。

今年で組合創立50周年を迎え、関連記念事業を実施し、また、女性部を立ち上げたとのことでした。「より親しまれる商店街に」との思いから、平成7年に組合名を現在の名称に改称。同時に、札幌市北区料飲店協会や北銀座振興会、北24条商店街に隣接する4つの町内会、行政や各学校関係者の方々との交流を今まで以上に活発化し、より良い街づくりに向けて共に歩いて行こうと「スロライフ・イン・にーよん」の活動を始められ、「食と花で街づくり」をテーマに掲げ、11年間の活動が地域発展に繋がってきたものだと感じました。

本町における地域活性化の取組みに向け、大変参考になる講演でありました。

(住吉英子・上村智恵子)



陳情者が求めている道路拡幅箇所(町道種川線)

重要施策の取組事例を学ぶ



◇10月20日～22日の日程で、平成27年度の重要施策である「ふるさと納税」「地域おこし協力隊」「地域公共交通」について、道内研修視察を実施しました。

ふるさと納税を活用し、子育て少子化対策を充実

（上士幌町）



10月20日「ふるさと納税」研修視察（上士幌町役場）

ふるさと納税大感謝祭を東京で開催

上士幌町は、平成26年度のふるさと納税寄附額が9億円を超えており、その取り組みは全国から注目を浴びています。平成26年に上士幌町へふるさと納税をされた方を対象とし、感謝の気持ちを伝え、直接交流の場を作ることで上士幌町と

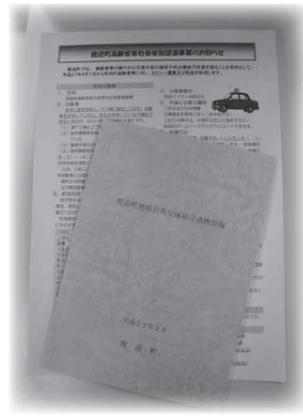
の距離をさらに縮めてファンになってもらうことを目的に、平成27年2月に『ふるさと納税大感謝祭2015 in東京』を開催しています。

また、ふるさと納税の寄附金の一部を財源として、子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり及び少子化対策の推進を図るため『ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金』を創設し、スクールの導入や認定こども園ほろんの幼稚園部門の完全無料化などを実施しています。

ふるさと納税の寄附金で基金を設置し、子育て少子化対策に活用していましたが、活用内容がどれも移住に繋がる施策だと感じました。本町でも今年度からふるさと納税を始めましたが、明確な目的が必要だと感じました。

地域公共交通・高齢者等にタクシー助成券

（鹿追町）



地域公共交通総合連携計画とタクシー助成券のチラシ

鹿追町では、平成22年3月に地域公共交通総合連携計画を策定し、デマンド型交通に関する調査を平成26年度に実施しています。

調査では、ジャンボタクシー方式を採用し、1日5便・28日間の運行実証実験を行い、車内に職員が同乗してヒアリングでのアンケート調査を実施しました。

アンケートの結果から「タクシー利用に対する助成が最も住民の満足度を高める方法」との結論を出し、平成27年4月か

ら、高齢者等の細やかな交通手段の確保や外出機会を促進することを目的として、町内の高齢者等に、タクシー運賃及び料金を助成しています。

本町では今年度、計画を策定する予定となっています。高齢化が進む本町においては、一刻も早く新たな交通体系を調査・研究しなければならぬと感じました。

地域おこし協力隊が

各方面で活動中

（新得町）



協力隊として移住定住・観光振興分野で活動中のあ二人

移住定住対策として協力隊を導入

新得町では、平成25年度から新たに地域おこし協力隊を活用し、現在は10名の隊員（地鶏普及推進員3名、観光振興事業推進員3名、障がい福祉支援員1名、保育支援員1名、移

協力隊制度を活用しています。

本町では、4月に募集を開始しましたが、応募がなかったため、今年度の募集を中止しています。

新得町では10名の地域おこし協力隊が活動していることから、応募する方が何を求めているのかを調査研究する必要が感じました。

住定住推進員1名、エゾシカ活用推進員1名）が各方面で活動しています。地域おこし協力隊の制度を活用するに至った理由として、移住定住対策の一つとして、雇用も含めた対策が必要との観点から、定住化や起業化を目指しつつ、産業の活性化や地域振興を図ることが可能であるとして、平成25年度から地域おこし



10月21日「地域おこし協力隊」研修視察（新得町役場）



ふるさと納税特典カタログ（上士幌町）



St.Causair Winery (長野県飯綱町/26.7.24総務経済常任委員会研修視察)

余市・仁木ワイン・ツーリズムプロジェクト

ワインツーリズムで町を活性化

全員協議会

▼11月6日・25日

町の依頼による全員協議会を開催し、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）上乗せ交付分（余市・仁木ワインツーリズムプロジェクト）に関する件について、説明を受けました。

副町長から『この計画は、ワインナリーに多くのワイン愛好者や観光客を呼び込み、町の活性化を目指すもので、余市町は既に6軒のワインナリーがあり、ツーリズムに対応できるが、本町は現在1軒のみであることから、今後、ワインナリー10件の集積を目標に、個性的で質の良いワインバレー化を目指す必要がある』との説明がありました。

本町の主な事業計画

▼ワインツーリズム 調査事業

本町に数多くのワインナリーを作り、どのような美しい街並み景観にするのが良いのかの基礎調査をします。

▼ブランド発信力 強化事業

丘陵地に耕作放棄地や遊休地がどれだけあり、そこにワインブドウをどれだけ植えることができるかを調査します。

▼人づくり事業

アメリカ・ナパバレーは、急速に発展した町であることから、ワイン事業に関わる方々がナパバレーでの視察を実施します。併せて、道外有数のワインナリーでの視察も実施します。

子育て世代に経済的支援

保育料、子ども医療費の負担を軽減

▼11月30日

町の依頼による全員協議会を開催し、仁木町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略に関する件について、説明を受けました。

9月30日開催の全員協議会では、「人口ビジョン」について説明を受けており、今回は「総合戦略」について、説明を受けました。

本町の総合戦略は、国の総合戦略に加え、4つの重点戦略を定め、その中の一つである『出生率向上のため、安心した子育て環境の提供』では、3つのプロジェクトを推進するとの説明がありました。

1 結婚・妊娠・出産に対する支援プロジェクト

安心して出産できる環境づくりのため、出産祝金、不妊治療に対する財政支援、妊娠・出産・子育てに関する相談の強化などに取組むとともに、周産期体制の継続支援に引き続き取り組めます。

2 子育て世代の経済的支援プロジェクト

子育て世代の経済的支援の充実のため、保育料や子ども医療費、学校給食費などの負担軽減に取り組めます。

3 子ども・子育て支援の充実プロジェクト

地域で子育ての負担を軽減する取組みの充実のため、ファミリーサポートセンターの整備などに取り組めます。

全員協議会

みこまほかにん（飯山へき地保育所）



Assembly topic



（前列左から）佐藤町長、山下さん、渡邊さん、山下さん、嘉屋さん、山下さん、横田副議長

町功労賞・功績賞表彰式

山下前議長が受賞

11月5日、平成27年町功労賞・功績賞表彰式が町民センターで行われ、地域の発展に貢献された5人の方が晴れの榮譽に輝きました。

◆町功労賞
山下 敏二さん



平成3年1月から6期20年6か月、議員として自治振興に貢献し、うち3期10年5か月間議長を務め、円滑な議会運営に大きく寄与されました。

◆自治功績賞

渡邊 司さん

（前選挙管理委員長）
笠井 治さん

（前消防団副団長）
山下 秀則さん

（前消防団副団長）

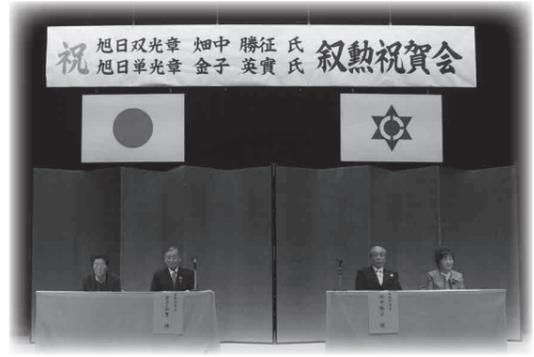
◆教育・文化・スポーツ功績賞

嘉屋 達雄さん

（前社会教育委員長）

祝 旭日双光章 畑中勝征氏 叙勲祝賀会

町政発展にご尽力された先輩議員



平成27年春の叙勲で旭日双光章を受章された畑中勝征さん、秋の叙勲で旭日単光章を受章された金子英實さんの叙勲祝賀会が、1月15日に町民センターで開催されました。

畑中さんは、昭和50年から7期28年、議会議員として、本町の振興発展にご尽力されました。

この間、産業建設常任委員長、議会運営委員長、副議長、議長の要職を歴任され、本町議会の審議の充実と権威の向上に大きく寄与されました。

金子さんは、昭和50年から5期20年、議会議員として、本町の振興発展にご尽力されました。

この間、総務常任委員長、仁木町農業委員などを歴任され、町産業の向上発展と地方自治の健全育成に大きく寄与されました。

先輩議員の偉大なるご功績に対し、深甚なる敬意を表します。

Assembly topic



仁木は子育てに最高の環境！

三田さんファミリー（尾根内）

連載2回目は、尾根内在住の三田伊織さんファミリーです。奥様と二人のお子さんの4人家族で、農業を営んでいます。

出身は兵庫県で、スキー・スノーボードが好きだったため、雪の多い本町に転入されたとのこと。

◎子育て支援の分野で何か望むことはありますか。

仁木は自然にあふれていて子育てには最高の環境です。銀山地区の良さをもっとアピールできれば良いと思います。

子育て世代には、共働きが多いので、土日・祝日保育を充実してほしいですね。

あと、小中学校のスキー授業をもっと増やしてほしいですね。せっかく良い環境にあるのに、もったいないなと思います。



（取材・インタビュー 野崎明廣）

◎町や議会に対して何か望むことはありますか。

今は農地を賃貸しているので、土地の斡旋してもらえると助かります。温水プールやスポーツクラブのような運動施設があると良いですね。

◎お子さんに対してメッセージを！

仁木町の大自然の中で、元気にたくましく生きろ！

身体を動かすことが大好きな三田ファミリー。緑豊かな本町の澄んだ空気は、子どもを育てるには最高の環境なのかもしれません。

絆の町長さんを紹介！



余市警察署 仁木駐在所

所長 小田嶋 健一さん



仁木地区の治安を守る小田嶋仁木駐在所所長です。

前任は千歳市というところで、仁木町には平成20年に赴任され、今年で8年目を迎えたそうです。

仁木町の印象を伺ったところ、「果実とやすらぎの里のキャッチフレーズどおり、食べ物も美味しく、住民の方もとても親切で、温もりを感じる町です」また、過去に本紙でも紹介しましたが、なかよしクラブ安心警ら隊のことについて、「このような活動をされている組織があることはとても素晴らしいことです、仁木町民の防犯意識の高さに驚きました」と述べていらっしゃいました。

小田嶋所長は、赴任当初からこのような地域活動や防犯啓発の記事にした駐在所だよりを発行していますが、本年度の北海道警察ミニ広報紙コンクールで最優秀賞を受賞されたそうです。

最優秀賞の受賞は3度目とのことですが、「安心警ら隊をはじめとする地域活動を記事にすることで受賞することができました。受賞は地域の皆さまのおかげです」と謙遜されていました。「ご家族をとても大切にされている小田嶋所長。これからご家族同様、仁木の町を守っていただきますようお願いいたします。」

（取材 嶋田 茂）

道警ミニ広報紙コンクール 最優秀賞おめでとうございます！



編集 後記

寒さ厳しい季節ではありますが、本町の成人式が1月10日に行われ、新成人20人が出席し、晴れて大人の仲間入りをされました。新成人の前途が、夢と希望に満ちた素晴らしいものであるよう心から願うところです。

さて、町では現在「人口ビジョン」とその実現に向けた5か年の政策を記した「地方版総合戦略」を策定し、平成28年から本格的に実行されます。

人口減少を食い止めるハードルは非常に高いハードルではありますが、官民一体となつて取り組むことが「地域つくり」の原点と考えます。

今後とも議会としての役割を果たし、町民の皆さんに読んでいただける広報づくりに取り組んでまいります。

＜佐藤秀教＞

次の議会は 3月定例会 (3月上旬開催予定) ぜひ傍聴に来てください

◆編集・発行責任者

議長 横関 一雄

◆議会広報編集特別委員会

委員長 住吉 英子

副委員長 嶋田 茂

委員 佐藤 秀教

委員 野崎 明廣

寄附行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解をお願いします。